

## 令和5年度相談支援従事者現任研修プログラム等について

## ■検討の進め方

- ・教材の検討が無理なく進められるよう、検討チームのメンバー構成は、令和3年度の研修チームで教材作成の経験者が新たに協力者をサポートできる体制とする。
- ・原則、令和4年度と同内容とする。
- ・講義は、令和4年度の教材を使用する。
- ・演習は、会場開催用とオンライン用の教材を準備する。
- ・令和4年度中に演習で使用する演習ノートとタイムテーブルの完成を目指し、進行用スライドは年度明けに完成させる。
- ・オンライン用は、令和4年度のプログラムをベースに、アンケート結果やファシリテーターからのフィードバックを参考に微調整する。
- ・会場用は、会場で実施した令和3年度のプログラムに令和4年度でバージョンアップした内容を反映させ、オンラインで実施するプログラムと内容に差が出ないように留意する。
- ・地域実習の内容は、検討会の実習チームと合同で検討する。

## ■スケジュール案

- 3月 演習ノート、タイムテーブルの作成
- 4月 進行用スライドの作成
  - 受講者の募集
  - ファシリテーターの調整
- 5月 受講者の決定
- 6月 ファシリテーター説明会の実施
  - 研修の開始